

# 3.11に学生が 東北を訪問 あの日を 忘れない



専修大学ボランティア推進委員会傘下団体のSKVとSIVの学生19名が大学職員と共に3月10～12日、東日本大震災で甚大な被害を受けた福島県いわき市と宮城県石巻市を訪問し、合宿を行った。

10日は、いわき震災伝承みらい館を見学し、語り部から震災の様子を聴いた。11日は、石巻南浜津波復興祈念公園で開催のイベント「東日本大震災追悼 3.11のつどい」で、灯籠制作や会場設営を行った。最終日の12日は、石巻市の震災遺構の大川小学校や旧女川交番のほか、女川第一中学校の生徒が設置した「女川いのちの石碑」を見学した。

帰京後、大学で事後学習会を開催。学生たちからは



↑ 3月11日、石巻南浜津波復興祈念公園にて灯籠の設置

「施設などハード面の復興が進む一方、追悼式で涙を流されている方を見て、まだ心の傷は癒えることはないと思った」「地震はいつ起きてもおかしくない。今回の経験を踏まえて備える必要がある」と、被災地の現在を知り、防災意識が高まったという声が聞かれた。